

京都あぐい便い



近畿農政局京都府拠点
発行: 令和7年2月27日

写真: 京都市「山茶花」



P1・・・近畿農政局長賞決定！～第1回みどり戦略学生チャレンジ近畿大会～

P2・・・現場だより「地域に根付いた野菜を育て、旬の野菜を子供たちに伝える」新田 和洋さん（京田辺市）

P3・・・現場だより「～農業とサービス業の二刀流が自分に合ったスタイル～」川村 厚志さん（伊根町）

P4・・・「サステナアワード2024伝えたい日本の”サステナブル”」受賞作品の紹介 / ～最近の各種統計情報の公表について～ / 近畿農政局京都府拠点からのお知らせ

近畿農政局長賞決定！～第1回みどり戦略学生チャレンジ近畿大会～

農林水産省近畿農政局は、近畿地域の学生の皆さんによる「みどりの食料システム戦略」に基づく取組成果（調達、生産、加工・流通、消費）を発表いただく「みどり戦略学生チャレンジ近畿大会」を開催しました。

京都府からは高校の部に9グループの参加があり、3グループが近畿農政局長賞を受賞されました。受賞された高校生の皆様おめでとうございます。



【近畿農政局長賞】

調達

京都府立桂高等学校

汚泥再生リン「MAP」を活用したミニトマトの生産性向上調査と普及活動による国内資源への転換

生産

京都府立洛西高等学校 洛再Links同好会

地域資源の循環を通した土作り、肥料作り、そしてコミュニティ作り

消費

京都先端科学大学付属高等学校 SDGs飯プロジェクトチーム

規格外京野菜を活用したSDGsスイーツの開発



【特別賞】

コンポストの活用と普及活動 ～#たべるめぐるホテルとめぐる:わプロジェクト～（京都府立農芸高等学校 草花コース）

【優秀チャレンジ賞】

生き物たちと共生できる農業を求めて（京都府立木津高等学校 システム園芸科）

海の低利用資源を活用した堆肥製造（京都府立海洋高等学校 海洋工学科海洋技術コース）

養液栽培利用済みヤシ殻培地の利活用方法の検討について（京都府立農芸高等学校 園芸技術科野菜コース）

廃棄農作物を用いた担子菌類の子実体形成の方法の検討（京都府立農芸高等学校 生物工学課題研究微生物班）

こんにちは。粳穀（京都府立嵯峨野高等学校 ソーシャルビジネスラボ）

【各賞の詳細は近畿農政局ウェブサイトをご覧ください】

https://www.maff.go.jp/kinki/midori/challenge/poster_koukou.html

【お問い合わせ先】

近畿農政局 企画調整室 ダイヤルイン:075-414-9036



みどり戦略学生チャレンジ
近畿大会受賞者一覧

現場だより



地域に根付いた野菜を育て、旬の野菜を子供たちに伝える

新田 和洋さん（京田辺市）

京田辺市で新規就農し、えびいもやオクラなどの野菜を中心に生産されている新田和洋さんにお話を伺いました。（取材：2025年1月）



新田 和洋さん

就農のきっかけ

新田さんは、幼いころ友人がアトピーに悩まされていたことから農薬を極力控えた野菜の生産について興味を持ち、会社員時代から家庭菜園を行っておられました。

結婚を機に京田辺市に移住し、営農を手伝っていた生産者の後継として、2022年に本格的に農家に転身されました。

現在、約70aのほ場で、えびいも、オクラ、花菜、ズッキーニなどの野菜を中心に生産されています。

地元に根付いた野菜の生産

地元に根付いた野菜を作りたいとの思いから、市特産野菜のえびいもを生産されています。

JAが運営する「えびいも農家養成塾」の受講や近隣農家から助言・指導を受けながら栽培技術を身につけられました。

油粕などを堆肥にするなど、土づくりにも熱心に取り組まれています。



収穫されたえびいも



田植え体験の様子

きょうと食いく先生として活躍

京都府から農作物の栽培や加工・調理等の食農体験指導を行う「きょうと食いく先生」の認定を受けており、市内の小学校で農家の仕事の紹介を行ったり、露地で栽培した野菜の収穫体験などの活動を通じ、子供たちに季節とりどりの野菜を知ってもらい、旬の野菜を食べることの大切さを知ってもらいたいとのことでした。

現場だより



～農業とサービス業の二刀流が自分に合ったスタイル～

川村 厚志さん(伊根町)

「農園ねずみのすもう」で水菜などの農産物を有機肥料を使って栽培され、宿泊業の「玄か～sizuka～」も始められた伊根町本庄地域の川村厚志さんにお話を伺いました。
(取材：2025年1月)



川村 厚志さん

I ターン移住して就農

川村さんは、京都市内でサラリーマンをされていましたが、お子さんがアレルギー体質だったこともあり、家庭菜園で収穫された野菜を食べられていました。

その後、本格的に農業をやろうと一念発起され、2008年に伊根町に移住されました。

伊根町への移住は、町内で開催される筒川そば祭りのチラシがきっかけで、何度か訪問するうちに、伊根町の方々の農業に前向きな姿勢に惹かれて決意されたそうです。



ビーツドレッシングと京みず菜

水菜とビーツ

最初は、農業研修を受けた先から数棟のハウスを借りられていましたが、その後に自前のハウスも建てられて、今では7棟で水菜を周年栽培し、そのほか水稻や露地栽培もされています。

ビーツの栽培を始められたのは、奥様の発案で、委託加工でドレッシングの販売されていますが、このビーツを作り始めたことで、スムージーやクラフトビールの原材料として販売する等、販路が広がったそうです。

サービス業への参入

移住された先の伊根町は、周辺の観光スポットとして舟屋が有名ですが、住居のある本庄地区は少し離れた場所にあります。

元々サービス業に興味があったそうで、コロナ禍の際に、いろいろ思いを巡らす機会があったとのことで、農業の傍ら宿泊業を営むことは、食事に自分たちで生産したお米や野菜を提供できるので、相性が良いと考え、自宅横に宿泊施設を建てられ、2023年3月に開業されました。



「食・遊・寛ぎ」を五感で感じる体験型お宿 玄か～sizuka～

新しい農業スタイルを目指して

農業という第1次産業とサービス業という第3次産業の二本柱でやっていくことが、自分に合っているし、地域にも貢献していると思っているとのことで、「大変なことも多いが、新しい農業スタイルを目指して自身の取り組みを発信していくことが、移住者である自分たちの役目でもあると思っている」と話されています。



「食・遊・寛ぎ」を五感で感じる体験型お宿 玄か～sizuka～



玄か～sizuka～の室内

「サステナアワード2024伝えたい日本の”サステナブル”」受賞作品の紹介

農林水産省は、「みどりの食料システム戦略」の一環として、消費者庁、環境省と連携し、「あふの環(わ)2030 プロジェクト」を実施しています。

今回本プロジェクトにおいて実施する、食や農林水産業に関わるサステナブルな取組動画を表彰する「サステナアワード 2024」の受賞作品が決定し、京都府から生物多様性保全賞に、亀岡市が受賞されましたのでお知らせします。

【生物多様性保全賞】

作品名:アユモドキからはじまる 亀岡オーガニックストーリー (亀岡市)



～【亀岡発】アユモドキから広がるオーガニックの輪！ 全ての子どもたちに有機給食を～

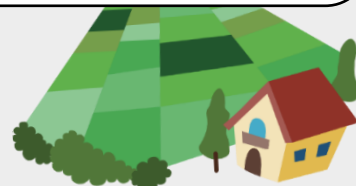
京都府亀岡市で、絶滅危惧種の魚「アユモドキ」の保全活動から始まった、驚くべきストーリー。環境を守るために、オーガニック米や野菜の生産者が増え、今では小学校の給食に有機米、保育所の給食に有機野菜が導入されるまでになりました。

この動画では、アユモドキの保全活動家、オーガニックを広める人、有機農家、有機農業学校の校長、子どもを持つ母親、そして亀岡市長など、様々な人々にインタビュー。なぜ亀岡市がオーガニックに力を入れるのかその背景と想いを深く掘り下げます。

【ウェブサイトアドレス】

「プレスリリース」農林水産省ウェブサイト

https://www.maff.go.jp/j/press/kanbo/b_kankyo/250124.html



【お問合せ先】

農林水産省 大臣官房みどりの食料システム戦略グループ地球環境対策室(アワード事務局)

代表:03-3502-8111(内線3296)ダイヤルイン:03-6744-2016

～最近の各種統計情報の公表について～

【年計調査】

- 2月26日 令和2年(2020年)農林漁業及び関連産業を中心とした産業連関表(飲食費のフローを含む。)
- 2月18日 作物統計調査 令和6年産日本なし、ぶどうの結果樹面積、収穫量及び出荷量
- 2月18日 作物統計調査 令和6年産茶の摘採面積、生葉収穫量及び荒茶生産量(主産県)
- 2月 4日 作物統計調査 令和6年産かんしょの作付面積及び収穫量
- 2月 4日 作物統計調査 令和6年産春植えばれいしょの作付面積、収穫量及び出荷量
- 1月28日 作物統計調査 令和6年産もも、すももの結果樹面積、収穫量及び出荷量

【ウェブサイトアドレス】

「統計情報」農林水産省ウェブサイト <https://www.maff.go.jp/j/tokei/index.html>



近畿農政局京都府拠点からのお知らせ

近畿農政局京都府拠点では、メールマガジンを発行し、プレスリリース等の公表、農林水産施策の紹介等を行います。メールマガジンは、月2回をめぐりに発行しており、どなたでもご利用いただけますので、ぜひご登録ください。

【ウェブサイトアドレス】

<https://www.maff.go.jp/kinki/tiiki/kyoto/mailmagakyo.html>



【ワード検索】



お問合せ先:近畿農政局京都府拠点

〒602-8054 京都市上京区西洞院通下長者町下る丁子風呂町 TEL:075-414-9015

ホームページ: <https://www.maff.go.jp/kinki/tiiki/kyoto/index.html>